

第80回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2025年 2月27日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性6名 ・女性2名 ・投句3名 計 11名
- 3 今回の季語 二月(如月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



”紅い白山”《木場潟ヨリ望む》



- * 観梅に今年も来れた八十路かな
- * 梅の香に誘われ上がる斜め路
- ・ 日差し受け辛夷の蕾たちあがる
- ・ 風花や空の青さにとけこめり
- ・ 晴天の日の出浮かべた冬の池
- ・ 風下へ灰の舞ひ落つ葦を焼く
- ・ おほかたは木々錆色の浅き春
- ・ 散歩道犬が飛び込む寄せ落葉
- ・ 豪雪や家も飲み込み嘆く老母
- ・ 夫の歳越へて節分豆の数
- ・ 大雪やまだ泣かせるか能登の里
- ・ 川端の類刺す風や春遅し
- ・ 立春を過ぎても冷たき街の風
- * 梅林の枝垂れ明かりに導かれ
- * 境内に匂いおこせよ梅の花



* 写真で一句
!

- 5 講評・添削 披講担当: 園田 さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

- ・ 梅林の枝垂れ明かりに導かれ
↳ 梅花の色が照らす明かりを表現
- ・ 日差し受け辛夷の蕾たちあがる
↳ 春の訪れを表す表現
- ・ 夫の歳越へて節分豆の数
↳ ”ツマ”と詠む
- ・ おほかたは木々錆色の浅き春
↳ ”オ”と詠む
- ・ 団塊の余生楽しみ梅ふふむ
↳ ”ふくらむ”の表現

選外句

- ・ 初雪日公園の芝白く初め
- ・ しなやかに香りほのかな枝垂れ梅
- ・ 寒月を抱く中天の深さかな
- ・ 日本海泡雪まじり白き波
- ・ もう勝てぬ孫娘の背丈雪だるま
- ・ 卒業しきつく束ねる古ノート
- ・ 水不足緊急入院春遠し
- ・ 冬の空多くの星と出会う夜
- * 梅の花咲き始めるや蜂誘う
- * 団塊の余生楽しみ梅ふふむ
- * 梅一輪蕾ふくらむ陽気かな
- * 鉢植え梅の蕾も紅みおび
- * 梅の花一輪咲いて風なごむ

- 6 次回(#80)開催日 2025年 3月27日 13:00～(15:00) 第4木曜日
兼題: 三月(弥生)の季語全般
- 写真で一句 : 雪 注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!
歳時記を参考に! 注2) ”五七五”の17音(文字)を満足すること!
- 大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

園田、金子、川橋、榎木

投句：林(3)、豊村(1)、蓑田(3)

鳥越、由比浜

奥、久保



✧ 比喩上手!